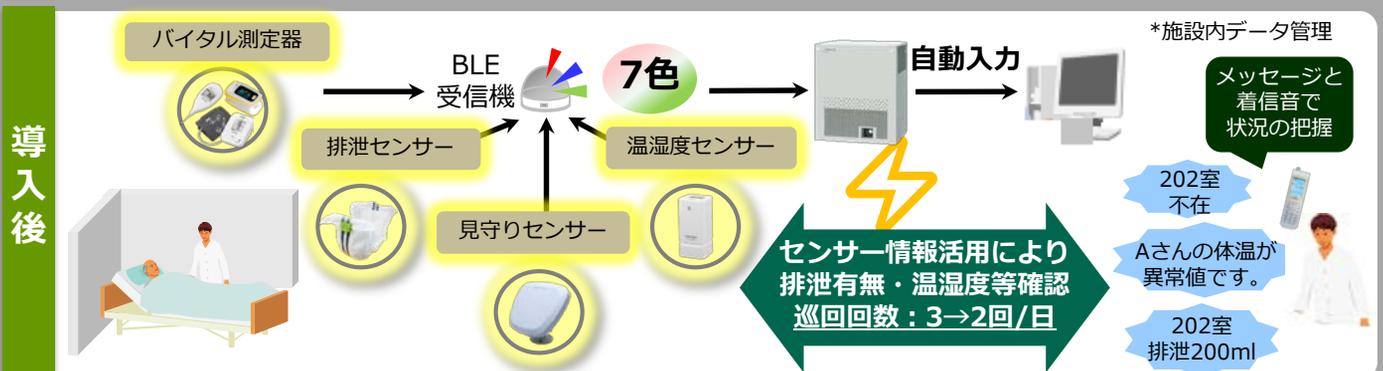
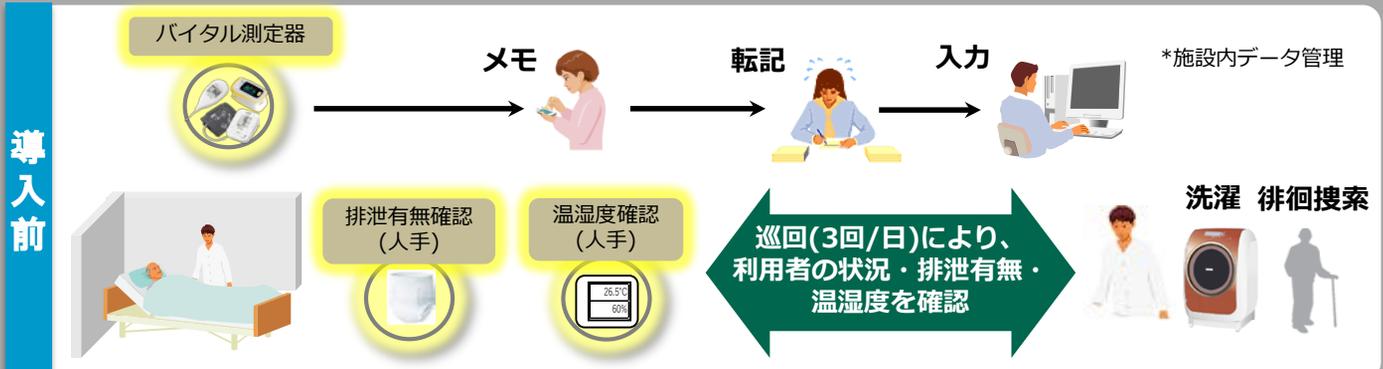


**利用者のケアに必要な情報をセンサーで取得して自動通知
おむつ交換回数や清掃業務の削減により環境負荷を低減 (CO₂排出量43%削減)**

■お客様の課題 (介護職員の作業負荷低減)

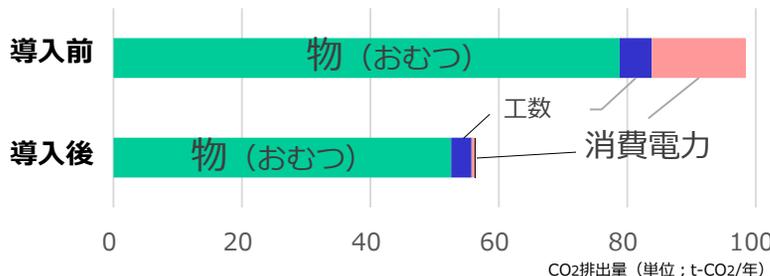
- ・バイタル記録の手間を減らしたい
- ・おむつを適切なタイミングで交換し、回数を減らしたい
- ・おむつからの漏れによるシーツ、ベッドマットなどの清掃が大変
- ・利用者の徘徊、異変や居室の温湿度の変化にいち早く気づきタイムリーに対応したい

■機能単位：利用者100名(居室数100部屋)1年間の状況確認、ケアとバイタル記録結果の登録業務



■効果

- ・おむつの使用量を削減
- ・介護職員の作業負荷低減 (働き方改革にも貢献)
- ・洗濯作業削減による洗濯乾燥機の消費電力削減 (水使用量も削減)



CO₂排出量：42 t -CO₂/年削減 CO₂削減率：43%

・環境負荷要因の値は評価条件や評価モデルにより異なります。
 ・本評価は、(株)日立製作所のCO₂算定手法であるSI-LCA(*1)を使用し、2019年10月時点の情報で運用ステージを評価対象として算定しています。
 (*1) SI-LCA : System Integration-Life Cycle Assessment
 SI-LCAは「平成17年度情報通信技術(ICT)の環境効率評価ガイドライン (日本環境効率フォーラム平成18年3月発行) に準拠した手法です。

● 環境負荷低減要因

- ・適時交換によりおむつの使用量削減
- ・おむつ交換、洗濯、巡回、徘徊搜索等の作業工数削減
- ・おむつ漏れによるシーツ、衣類の洗濯作業削減による洗濯乾燥機の消費電力削減

● 環境負荷増加要因

- ・機器導入による消費電力増加